

【1. 今後の気象の見通し】

令和元年8月14日から16日の雨、風、波

地域	8月14日		8月15日			8月16日		
	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
瀬戸内側	大雨:警戒すべき期間							
	注意すべき期間		非常に強い風:警戒すべき期間			注意すべき期間		
	大しけ(波):警戒すべき期間							
太平洋側	大雨:警戒すべき期間							
	注意すべき期間		非常に強い風:警戒すべき期間			注意すべき期間		
	大しけ(波):警戒すべき期間							

凡例

- 大雨:警戒すべき期間
- 非常に強い風:警戒すべき期間
- 注意すべき期間
- 大しけ(波):警戒すべき期間

【気象概況】

- 台風第10号は8月15日昼前から夕方にかけて四国地方に最も接近し、上陸するおそれがあります。
- 台風の接近に伴い、14日昼前から局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、15日夕方から16日にかけて局地的に猛烈な雨が降る見込みです。
- 14日12時から15日12時までの24時間降水量(多い所)
 - 瀬戸内側 400ミリ
 - 太平洋側 1000ミリ
- その後15日12時から16日12時までの24時間降水量(多い所)
 - 瀬戸内側 300~500ミリ
 - 太平洋側 600~800ミリ
- 14日昼前から非常に強い風が吹き、15日朝は猛烈な風が吹く見込みです。
- 14日夕方から15日夜遅くにかけて、うねりを伴った猛烈なしけとなる見込みです。